

2023年度 保育園の自己評価・考察・課題 (2024年3月末)

2023年度、ヒッポ保育園の自己評価について

今年も3月に、全職員に、自己評価チェックリストを配り、それぞれ各自で、自分の保育を見直すようにしています。1年に1度、このような機会があることは、保育の質の向上には必須です。また、職員の自己評価と、保護者アンケートの結果から、ヒッポ保育園としての自己評価をし、それを、今後の課題へと、繋げていきたいと思えます。

2023年度の保護者アンケートは、3月に実施致しました。

その①保護者アンケートの結果、②職員との面談、③職員の自己評価を鑑み、ヒッポ保育園としての自己評価をしました。

保護者は、年々若い世代になっていると感じます。その為、子育ての経験が浅く、子どもの成長とともに関わり方が変わるという事が、解っていないというのが、現実であると思えます。また、解っていないことがわかっていない！その為、自分の子育てに対しての迷いや、問題意識等もなく、「どうしたらいいのか？」という発信がないので、私達も保育園での子供たちとの関係づくりで日々が過ぎていくように思えます。しかし、実は、保育園の方から、「・・・どうですか？」と尋ねたり、問題を提起すると「・・・じつは、こまっているんです・・・」という保護者の本音が聞けたりもします。

発信がないのは、子育てに対して、将来の展望がわからず、その時、その場の子どもの姿に翻弄されていて、どうしたらいいのだろう？と考える余裕が持てないのが現実なのかもしれません。このように、考えますと、保育園の方から、様々な発信をして、情報を提供していくことが、今の若い保護者にとって、必要なことではないかと考えます。

上記の文章は、昨年2022年度の自己評価で明記した文章ですが、2023年度もやはり、保護者様との間に、同様の距離感を覚えます。

その距離感は、年々、深刻になっていくのではないのでしょうか？

保護者様にとっては、保育園で楽しく過ごしてくれればよい、という直近的視野(?)の考え方で、そこには、「こんな子供に育てて欲しい！」というような、将来の展望はないように思えます。いえ、保育園に、それを期待していないのかもしれませんが。

そう考えますと、残念なことです。

私達保育園は、子供たちが登園してから、降園するまでの時間を共に過ごしています。

その時間は、こども達が家で保護者と過ごす時間よりもはるかに長いと思うのです。

だからこそ、「保育園の役割は重要で、責任重大なのです。」と考えます。

が、そのようなことは、保護者様から期待されていないのだとすれば、それこそが、深刻なことかもしれません。

子どもの健全な成長を考えた時、保育園としての役割とその必要性を、保護者様に伝え、信頼してもらえるような働きかけをしていかなければなりません。

次に、保護者との信頼関係の構築について考えます。

ハード面では、有形的な環境ということでしょうか？

こども達が、安全で、保護者が安心して預けられるような環境づくりを常に考えていくことが大事です。

ソフト面では、保育の内容、職員の質について考えます。

年度の終わりが近づいてきますと、職員には自己評価をしてもらい、又それに基づいて面談を行います。

職員の自己評価チェックの結果より

保育士は、それぞれ、各自の保育感を持っていますが、大事なことは、子供を主体に考えること、子どもが最優先であることが一番大事なことです。

保育士ひとりひとりが高い専門性と豊かな資質を持つことは必至なことで、また自分自身の力量をさらに向上させていく意識を持って仕事に励んで欲しいと思います。

保育園としての自己評価と、今後の課題

以下の内容は、昨年とほぼ同様の内容と思います。

毎年自己評価をして、今後の課題は次年度につなげていきますが、すぐにその課題が良い結果に変えること意が出来ないのが実情で、情けない気持ちになります。

そして、今年の課題もやはり、保護者との信頼関係の構築なのだと思います。

また、よりよい環境の提供、職員の質、保育活動の質は、いつの時代においても、必要不可欠条件です。

自分自身の現状に甘えることなく、自己を厳しく見つめ、社会人として、保育人としても、切磋琢磨して、研鑽を積むこと、さらには、保育園としての役割を意識して、保護者に発信していくことを、常に考えなければなりません。

保育の現場から、保護者にどのように発信し、導いていけばいいのかを、今の時代に合った方法を、考えることが大事です。

以上のことから、具体的な課題として

- ① 忙しい就労条件下で、職員が、自己を研鑽すべく時間をどのように確保すればよいか？

保育園外での研修会参加の保障

保育園内での研修会、研修時間の確保

研修後の保育実践の確立

園長として

保育士ひとりひとりが高い専門性と豊かな資質作りが出来るような職員育てが、園長に課せられた重要な任務です。質の高い職員育ては、園長の永遠の課題です。

が、正直、今の時代、育てる前に、どうしたら職員が離職しないようにするのが、切実な問題です。